

2024 年 12 月 10 日

日本獣医生命科学大学大学院
獣医生命科学研究科長 盆子原 誠

日本獣医生命科学大学における生成 AI 利用ガイドラインに係る
運用手引き（大学院）

2024 年 8 月 19 日付け日本獣医生命科学大学における生成 AI 利用ガイドラインにつきまして、以下に大学院生等の運用手引きを示します。

- ・ 大学院獣医生命科学研究科ならびに獣医学専攻博士課程、獣医保健看護学専攻博士前期・後期課程、応用生命科学専攻博士前期・後期課程それぞれの教育上の目的・3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に沿った考えに基づいて生成 AI を利活用して下さい。
- ・ 学位論文の執筆に生成 AI を利活用することは禁止しません。ただし、学位論文は自身で執筆することが前提であり、生成 AI の出力内容をそのまま、あるいはそれに近い形で学位論文の一部または全部として利用することは認めません。生成 AI の出力内容はあくまで参考の一つにとどめて下さい。また、生成 AI の出力内容を参考にする場合は、次項に示す生成 AI のリスクを十分理解した上で、必ず自分自身の責任で出力内容の正確性・信頼性を確認して下さい。
- ・ 生成 AI では、もっともらしい情報を含む文章や引用論文が付加された文章が作成されますが、内容は不正確な事も多く、引用論文は存在しない架空の論文の場合があります。また、生成 AI で作成された文章は由来が不明なため、そのまま用いると剽窃となる可能性があります。このような正確性・信頼性を欠く文章や引用論文が学位論文で使用された場合、また剽窃と判断された場合には、学位が取得できない、あるいは後に学位が取り消されるなどの大きな不利益を被る可能性があります。
- ・ 学位論文の中で生成 AI の出力内容を参考に執筆した部分がある場合、必ず該当部位を明示して下さい。
- ・ 生成 AI を用いて作成あるいは加工した画像を学位論文で使用することは禁止します。ただし、AI イメージングや AI 解析など、生成 AI を画像に用いること自体が研究手法の一部である場合は例外とします。
- ・ 投稿論文については、雑誌により生成 AI の取り扱いが異なります（生成 AI の使用禁止や生成 AI を用いたことの明記など）。論文を投稿する際には必ず雑誌の規定を確認し、それに従って下さい。
- ・ 生成 AI に入力した情報については、その保護が保証されているわけではありません。未発表の研究アイデア（コンセプトや方法）、研究成果、生データなどを生成 AI に入力した場合、それらが漏洩したり第三者に利用されたりする可能性は否定できません。くれぐれもこのような未発表の情報は入力しないよう注意して下さい。